

## 総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 会 平成25年11月26日 午前 9時32分
- 2 閉 会 平成25年11月26日 午前10時48分
- 3 場 所 総社市役所保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員

### 出席委員

委員長	林 直 人
委員長職務代理者	米 谷 正 造
委 員	小鍛治 一 圭
委 員 (教育長)	山 中 榮 輔

### 欠席委員

委 員	下 山 洋 子
-----	---------

- 5 会議に出席した者

教育次長	松 尾 一 夫
参事兼庶務課長	三 村 和 久
学校教育課長	東 長 典
生涯学習課長	佐 近 昇
文化課長	谷 山 雅 彦
庶務課課長補佐	松 久 茂 喜

- 6 会議録署名委員

米 谷 正 造	小鍛治 一 圭
---------	---------

- 7 付議事件

議案第21号 平成25年度総社市一般会計補正予算（第5号）について 原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午前9時32分

**林委員長** ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には、議案1件が付議されております。

では、まず、会議録の署名委員についてであります。

会議録署名委員は、会議規則第19条の規定により、出席委員中、米谷委員、小鍛冶委員の2名をお願いします。

では、議案第21号「平成25年度総社市一般会計補正予算（第5号）について」事務局から説明願います。

**各所管課長 【事務局説明】**

**林委員長** ただいま事務局から説明がありました議案第21号について質問はありませんか。

**小鍛冶委員** 中学校の教育扶助費の件ですが、小学校のほうは昨年大分あったと思うんですけども、小学校については今年度は調整が上手にとれていたということでしょうか。

**三村庶務課長** 小学校費のほうは額が少額でしたので、今回補正をしておりません。

**林委員長** 他に質問はありませんか。

それでは、私から一件、コンピュータ教室の借上げが補正にしては物すごく大きい、これは普通補正で組むものなんでしょうか。それから、その時に多分稼働率というんですか、どれぐらい利用しているかという話が出てくると思うんですけど、その辺はどうなんですか。

**東学校教育課長** 通常の補正でできればお願いしたいということで考えていたんですけども、財政課長との折衝の中で、こういうものについては債務負担行為という形にしているということで、この2億6,000万円を補正予算として今回もらって一気に使うとかということではなくて、来年度以降、何年かかけて、要するに分割で支出していくと。業者さんと契約をして、4月にはそれを更新して実際にパソコンは揃うし、子どもたちは使える状態になるわけなんですけど、支払いを債務負担ということで、後から分割で払っていくということですので、今回の12月補正予算で2億6,000万円のお金がぼんともらえるというものではないということなんです。

それから稼働率については、しっかり使ってくださっていると思っておりますが、今はタブレット式のもので、なおかつキーボードもついているものを考えておまして、学校教育課のほうで学校の先生方とも話をしながら、これからの時代にふさわしいものにすべきだろうということで、これまでよりちょっとやや値が張る形にはなっているんです。

**松尾教育次長** ちょっと補足をしますと、4月1日から契約をするために、ここで予算としては確実につけますよという意味で債務負担と。それで、たしかこれは5年間の借上げ料ということで、リースです。物は4月1日に入りますが、それを5年間使うんで5年分割でいくと。ですから、今の5年間の総額よりはちょっと高いですけども、今までとほとんど変わらない年度分割によって5年間支払っていくのを、市役所としてこれは財政がお金をつけてますよという宣言という意味で債務負担ということなんです。

**三村庶務課長** 本来ですと、4月の当初予算につけていけばいいんですけど、4月から準備を進めていくと、予算がつくまでに時間がかかるんです。しかも、今のOSのXPというのが4月でサポートが切れますので、ちょっと間に合わないからということで、債務負担行為ということで準備をしていくという意味合いでございます。

**林委員長** 他にありませんか。よろしいですか。

それでは、議案第21号については原案のとおり可決してよろしいか。

(異議なし)

**林委員長** ご異議がないようですので、議案第21号については原案のとおり可決しました。

**松尾教育次長** 【教育委員候補者について説明した】

**林委員長** 次に、協議事項等に移りますが、まず「学校版一括交付金について」事務局から報告をお願いします。

**三村庶務課長** 【事務局説明】

**林委員長** ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

**米谷委員** まず、1ページ目の3階部分のところで、2階、3階と予算もふえて、学校の裁量もふえるということだと思っておりますけど、その3階部分で委員による審査・選定ということで、今後評価基準なども精査されていくということですよ。我々は、この会議の中でたくさん出てくれればうれしいことなんですけど、どの学校にするかというようなことを選定する上で、まずその評価基準ということと、2ページ目の3の定量化の測り方で、今の評価と関わってくるかと思っておりますけど、例えば(2)のところ、この定量化の項目との関連づけというのはどういうことなのか。定量化というのは、要は効果をどういうふうなスケールで見えていくかということだと思っておりますけど、その内容についてはどういうふうに見られるのかなど。これも今後検討されるということなんでしょうか。例えば学校がこういう事業を実施したと。それによって、教育効果がどれだけ上がったのかということをおそらく最後に。定量化するというのはそういう意味だと思っておりますけど、その辺りを細かく決めておく必要もあるのかなど。教育長はよく定量化という言葉を使われますけど、要は数値的にそれをわかるようにしていくということだと思っておりますので、その辺りも検討が必要なのかなどということと、3つ目は、なかなか効果を1年で測るというのは難しいことかなあと思っておりますけど、年度をまたいでこの予算を執行できるとか、あるいはその次の年も継続してできるとかということも可能なのかなど。できればそうあるほうが、教育効果を見るにはよろしいのかなあというような個人的な意見があります。

以上3点、どういうふうにお考えかをお聞きしたいと思います。

**三村庶務課長** まず、一点目の3階部分の審査につきまして、評価基準はどうかということですが、評価基準というものを一応事務局のほうで作る予定にしております。項目立てをして、点数を1点から5点までにするとか、3点までにするとか、まだ決めておりませんが、そういった基準を作りまして、教育委員の方がその基準を基に審査をするというような

形にしていきたいと。その提案のあった学校にプレゼンをしてもらうかどうかも含めて、検討したいと思います。できればプレゼンもしていただいて、審査をしていただくほうがいいのかなというふうに思います。

それから2番目の定量化、3階部分は年4校実施するということですが、この定量化というのは非常に難しいんですけど、まずはたくさんの学校に手を挙げていただいて、やっていくということが大切のかなというふうに思います。それから中身については、今考えておりますのは、定量化とはちょっと外れるかもしれませんが、校長会とか、学校長が一同に集まる機会もありますので、そういった場を活用して発表していただいて、いいものは徹底的に取り入れて他の学校も実施していただくということで、一つや二つの学校だけがレベルアップしていくのではなくて、そういうことを利用して、総社市全体の小中学校のレベルアップを図っていくようにしていきたいと思います。この部分については、ちょっと数値化するのが難しいんですけども、定量化というのは課題だというふうに考えております。

それから3番目、複数年にわたる事業ですけども、これは当然あると思いますので、それは認めたいと思います。ただし、例えば3年計画とか、5年計画にしても、単年度毎の事業計画を作っていただいて、それを3年なら3年、5年なら5年と積み重ねていくという形にしていきたいと思いますので、この交付金の関係でいきますと、年度毎に区切っていくという形にしたいというふうに考えております。

**小鍛治委員** 私の質問は、プレゼンみたいなものがあるかどうかということで、今お話があったんですけど。実施された後、教育委員によって審査をしていますから、やはりそれについて見学とか、そういうことも考えていただければありがたいなあと思います。

**三村庶務課長** そのようにしていきたいと思います。

**林委員長** 2階部分については、かつては市でもやっていたように思います。その時に、多分300万円がだんだん減っていったんだと思うんですけども、それを学校規模別に配分するものと一律というふうなものと、そういう形で分けてやっていたように思うんですけども、その時の記憶をたどると、何に使えるのかというのが非常に問題になりまして、結局もらったんだけど非常に使い勝手が悪いというんですか、学校の意に沿わない、これは使ってはいけませんよとかというふうな制約があったんです。ですから監査の都合で、こういった帳票とかその辺のところも当然だろうと思いますけども、どこまで求めるのかというふうなところが難しいかなあというふうな感じがしたんですけども、それをどういう用途に使えるのかというところをやはり明らかにしておいたほうがいいかなあということを思います。

それから、提案要求型の事業についてはいいんじゃないかと思いますが、100万円の4校で、たった1年でやって、その辺のところをはしごを外されたら困るなあ、補助金というのは大体3年とか、そういうふうなところでいくと、何となく一区切りついて成果も見えてくるのかなあという感じもするんですけど、そういったところについてわかるようにしていただきたいと思います。

**三村庶務課長** まず、2階部分の特色枠についてですけれども、平成21年度から24年度まで「特色ある学校づくり交付金」ということで、県の補助事業があったというふうに聞いております。これは県の補助事業ですから、例えば、消耗品にしか使えなかったとかというような制約は当然あったというふうに聞いております。今回、来年度から作ろうとしているこの特色枠事業につきましては、そういう制約は設けませんので、例えば費目で言うと、消耗品であろうが備品であろうが、例えば講師を迎えるための報償費であろうが、そういったものにも使ってよいということにしたいと思えますし、事業につきましても、学校長の裁量によって、極端に言うとなんな事業にでも使えるといった形にしたいと思えます。

それから3階部分の学校提案要求型事業、複数年にわたる事業がおそらく提案されてくると思えますので、それは認めたいというふうに思えます。ただ、3年間認めてしまいますと、予算上は債務負担行為とか、そういう設定をしないとイケませんので、そういう予算上の措置はしませんけれども、単年度を認めると、暗黙の了解というんですか、それは3年計画であれば3年間認めていくような形になろうかと思えます。途中で2年目から駄目だとか、3年目にはしごを外すとか、そういったことはしたくないというふうに思っています。

**小鍛治委員** 今のお話であれば、例えば4校ですよね。でも、3年で暗黙の了解で決めてしまうと、また新たに3年計画とかで提案されてくるようなところがあったら、それは4校であってもふえていく可能性もあるということですか。

**三村庶務課長** これはどれくらい出てくるか、あるいは単年事業なのか複数年事業なのか、ちょっとやってみないとわからない部分がありますので、とりあえず4校ということで、これはグループでもいいわけですけれども、4校でやってみて、余りにそういうケースがふえてくるのであれば、毎年度見直しはしたいと思えます。それで、必要があればふやすことも要求していきたいというふうに思えます。

**林委員長** 絶えずそういった校長会とか教頭会とかその辺の意見を伺いながら作成したというふうな説明があったと思えますけれども、感触として3階部分は手が挙がりそうですかね。

**三村庶務課長** 今、グループでしようというところや単独校でしようかというところをちらほら聞いていますので、手は挙がるんじゃないかなと思えます。

**山中教育長** 元々校長先生から要望のあったアイテムなので、必ずあると思えますね。

**林委員長** では、事業内容についてはいいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

**林委員長** それでは、ネーミングについて、事務局から説明をお願いします。

**三村庶務課長** 【事務局説明】

**林委員長** ただいまの事務局の説明に対するご意見等はありませんか。

**小鍛治委員** 「総社っ子」とか「輝き」は、被ってしまうのでやめたほうがいいと思えます。思い切って、ここにあります「ドリームスクールプラン」のほうがいいのではないかなあという感じがします。

**林委員長** 「学校力向上ドリームスクールプラン」，「スクール」はちょっとおかしいなあ。「スクール」を抜けば，「ドリームプラン」。

**三村庶務課長** 輝きと対にしようと思うと，「いきいき」とか「はばたき」とか「きらめき」とかになりますが，「はばたき」と言うとき，はばたき園をイメージしてしまうので，余り特定のイメージがないほうが良いと思います。

**林委員長** 「きらめき」というのも，「輝き」と重なるんじゃないかな。オーソドックスに言うとき，「いきいき」とかもいいかな。「学校力向上いきいきプラン」とか「学校力向上ドリームプラン」，その辺がどうかかなあと。

教育長，何かありますか。

**山中教育長** 交付金とかドリームに繋げるのであれば，形容詞系。やはり「いきいき」とか「きらめき」とか「はばたき」とかという言葉がいいんでしょうね。名詞と名詞では，ちょっと響きが悪いから。

**三村庶務課長** 「いきいき」と言ったら，高齢者関係で使われていますよね。

「学力向上総社っ子輝きプラン」というのがあるので，学力向上は「輝きプラン」なので，学校力向上は何か交付金ということで，「輝き」と対になるほうが形がいいのかなあと 생각합니다。さっきの「いきいき」とか「きらめき」とか。

**山中教育長** 「きらめき」は，どこかに使っているんですか。

**三村庶務課長** 余りないと思います。事務局案としては，「きらめき」が良いと思います。

**林委員長** 他に事務局のほうで何かありますか。

**佐近生涯学習課長** 「いきいき」というのは，結構高齢者の関係で使われている印象があるのでどうかあという感じがしました。現実には，スポーツのほうでも使っています。なかなかこういった言葉は，あちこちで使われていますので難しいですね。

**東学校教育課長** 余り長いネーミングじゃないほうが良いと思いますので，コンパクトにぱっと納まるものがいいのかなと思います。「ドリーム」とか「きらめき」とかというのがいいなと思います。ちょっと一つに絞れていないです。

**谷山文化課長** 私は，片仮名よりは漢字のほうが良いです。

**松尾教育次長** 私もやはり対になるというのがいいのかなあとと思うんです。「きらめき」というのがほかになければ，一番素直な考え方かなあとと思うんです。

**林委員長** 対になるような形のほうが，学校教育を管轄する教育委員会の施策としてはイメージが作りやすいというふうなところから，「輝き」と対になって，「きらめき」というのが教育委員会の施策だなあというのが一目でわかってもらえるんじゃないかと思っています。

それでは，「学校力向上きらめき交付金」ということでよろしいですかね。

(異議なし)

**林委員長** それでは，「学校力向上きらめき交付金」という名称に決まりました。

次に，教育長の報告をお願いします。

**山中教育長** 10月25日以降のイベントは、教育委員会で福井市へ視察に行きましたことが一番大きくて、これは皆さんご承知なので省略いたします。

それ以外は、「だれもが行きたくなる学校づくり」の研修会が今回は10月28日と29日、総社小と常盤小学校でサテライト研修がありました。大勢の先生に来ていただきまして、議論も活発に行われて、よかったと思っています。このサテライト研修のよさは、講師の先に学校の授業を全部見ていただけることです。また、事前に来て見ていただいて、コメントをいただいております。発表に対するコメントと学校に対するコメントと二つありますが、常盤小学校は課題が多く、全国の学力テストの結果もあまりよくないので、重点的に見ていただきました。コメントが幾つかありまして、その中の一つは、学校としてのスタンダードを作るべきだということでした。先生方が心一つにしてやれる、一つか二つでもいいからそういうものをきちっと持ってやるべきだと指摘がありました。先生方は一生懸命やられているんですけど、個人個人でなく全体として組織の動きになるべきで、先生方の成長にもそのほうが良いというコメントでした。9月に行われた同じサテライト研修では、総社中央小学校が非常によくできていて、この活動については栗原先生から非常にお褒めいただきました。常盤小学校と同時にサテライト研修を実施した総社小学校も大規模校で、しかも伝統校ではあるんですけども、課題を持っている子どもがふえてきています。ただ、今回着任された校長先生は、授業の質を高めるということを随分やられているようで、授業内容のレベルが非常に高いというコメントがありました。大規模校の二つはいろいろ課題があるんですけども、方向としては、今申し上げたようなスタンダードを作って、先生方が組織として力を発揮できるよう、レベルを上げていくことが大事ではないかと思えます。

福井市に行った時に同じことを感じたんですけども、掃除と挨拶は全市小中学校共通で、文化になっているようでした。また、家庭学習のための文章題とか、そういう骨格というか、スタンダードというか、皆が共通してやるというのがこれから総社には必要じゃないかなというふうに感じた次第です。同じようなコメントを先ほど申し上げた栗原先生からもいただきました。

それから、もう一つは外国語活動研修会。昭和小学校が研究校の指定になっているんですけど、授業参観、オープンスクールが11月20日にありました。これには4名の総務文教委員さんに参加いただきました。

昨日、校長会がありまして、校長会とその前に校長会からいろんな要望があったんですけども、端的に言うと、例年と同じく設備の充実と人材、教員の質と数の充実ということで、ハードとソフトとヒューマンという、それぞれについて要望がありました。今回の校長会の特徴はこういうことをやりたいからこういうことをしてほしいという構成になっていました。今日、市長と議長に同じ内容の要望をしますので、今の考え方を継続して投資してほしいということをお願いしようと思っています。

以上です。

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

佐近生涯学習課長 【いきいき総社スポーツプランの見直しについて説明した】

東学校教育課長 【英語特区のPR活動について説明した】

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

(なし)

林委員長 では、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり12月19日(木)午前10時から開催いたしますので、ご参集願います。

この際、来年1月の教育委員会の日程について事務局から提案願います。

(1月の教育委員会について日程調整)

林委員長 では、1月の教育委員会は、1月16日(木)午後1時半から開催いたします。

これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時48分